

市議会
ホームページ

市議会に関する情報はこちらから。



**平塚市公共施設等
総合管理計画**

問 策定後の庁内調整や連

携、民間活力の活用を推進体制について伺う。
企画政策部長 庁内関係部署と複合化する取り組みなどを進めてきたが、具体的な面が見えてきた。民間活力の活用は、具体的には保育所の民営化を計画するなど、行政改革に位置付けて力強く進めている。
問 土屋幼稚園と吉沢保育園の統合、さらに吉沢公民館との複合化について、住民説明会では新たな子育て支援の拠点として、民間活力の活用を検討するということであったが、今後どう進めていくのか。
企画政策部長 幼稚園と保育園の合築で、民間活力の活用という発想に至った。民間で受け手があるか調査し、2、3手が挙がっている。民間に移すことができれば進めていきたい。

企画政策部長 市債は、将来世代に過度な負担が生じないよう、借入額と返済額とのバランスに留意する。不用額は業務の執行残額として翌年度の予算に活用するなど適正な執行に努める。
問 不用額を縮小できるような事業管理を徹底し、計画的に事業推進を行う必要があると思うが、財政健全化にどう取り組むのか。
企画政策部長 社会保障費などの年度途中の状況も見て、減額できるもの、事業が途中で完了しているものは減額補正し、ほかの事業に回していく。

企画政策部長 社会保険費などの年度途中の状況も見て、減額できるもの、事業が途中で完了しているものは減額補正し、ほかの事業に回していく。

企画政策部長 社会保険費などの年度途中の状況も見て、減額できるもの、事業が途中で完了しているものは減額補正し、ほかの事業に回していく。

企画政策部長 社会保険費などの年度途中の状況も見て、減額できるもの、事業が途中で完了しているものは減額補正し、ほかの事業に回していく。

企画政策部長 社会保険費などの年度途中の状況も見て、減額できるもの、事業が途中で完了しているものは減額補正し、ほかの事業に回していく。



行財政運営や新たな福祉施策をどのように進めるのか
坂間 正昭 議員

行財政運営 厳しい財源の中で行財政運営をどのように展開していくのか。
企画政策部長 受益者負担の適正化をはじめとした自主財源の確保や、国県補助金の積極的な獲得による持続可能な運営に取り組む。
問 市債が過去最高額になっている。一方で不用額が発生している。財政健全化策を伺う。
企画政策部長 市債は、将来世代に過度な負担が生じないよう、借入額と返済額とのバランスに留意する。不用額は業務の執行残額として翌年度の予算に活用するなど適正な執行に努める。
問 不用額を縮小できるような事業管理を徹底し、計画的に事業推進を行う必要があると思うが、財政健全化にどう取り組むのか。
企画政策部長 社会保障費などの年度途中の状況も見て、減額できるもの、事業が途中で完了しているものは減額補正し、ほかの事業に回していく。

農福連携事業 事業の実施に向けた関係各所への支援と今後の予定及び課題を伺う。
福祉部長 本市農業の活性化と障がい者の自立、福祉の向上を図る連携したプロジェクトを立ち上げ、本格実施に向けた協議と関係各所への支援を進めている。今後はJA湘南土沢支所管内での本格実施を目指す。作業内容を調整する組織などの構築や委託契約の内容、賃金の設定などの課題

子どもの学びの充実 はぐくみサポートファイルの配布から4年が経過したが、活用状況と課題を伺う。
教育指導担当部長 ファイルは発達に課題がある未就学児を持つ保護者が発達などへのスムーズな情報提供につなげるツールである。学校では保護者がファイルを提示しない場合や担任から提示を求めている場合がある。また、記載内容が十分でなく個別指導の計画に反映できないこともある。今後は保護者の記載の負担感の解消と、学校がファイルの情報を活用できるように工夫・改善に努めていく。



子どもの学びの充実
佐藤 貴子 議員

人権を意識したまちづくり 11月9日に開催した人権講演会のテーマであった、LGBTいわゆる性的少数者や、その理解者・支援者を表すALTYという言葉が市民に広めていく必要

清風クラブ
所属議員



野崎 審也 議員



須藤 量久 議員



片倉 章博 議員



黒部 栄三 議員

常任委員会の審査概要 今定例会に上程された議案は所管の常任委員会に付託して審査しました。12月13日に開催した常任委員会の主な質疑を紹介します。

総務経済
議案6案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。
○議案第97号・98号・99号 工事請負変更契約の締結について〔平塚市庁舎・平塚税務署新築工事(庁舎棟・電気)(庁舎棟・機械)(駐車場棟・建築)〕(3案件を、一括審査した。)
問 物価スライドや賃金の関係で、工事途中での契約変更は何に基づくものなのか。
答 契約の約款に基づくものである。
問 駐車場棟の費用について、国は全く負担しないと最初から決まっていたのか。
答 国、税務署は基本的に、来庁者の駐車場は持たないという考え

都市建設
議案3案件は全て原案どおり可決すべきものと決定しました。
○議案第92号 平塚市都市公園条例の一部を改正する条例
問 各種利用団体への使用料改定の説明は、ヒアリングなどの実情を踏まえたものではなく、決まったことの説明であったようであるが、どうなのか。
答 話が急であったということは反省している。今後も丁寧な趣旨内容について説明していく。
問 ワールドカップのときと同様にリトアニアの事前キャンプでの使用も減免の対象となるのか。
答 具体的な話があったときに、減免するかを庁内関係各課と協議し、決めていきたい。

市民部長 講演や研修の機会を増やすべき、「繰り返し行うことが必要」などの意見があり、今後も継続的に啓発の機会を設けていきたい。
問 パートナーシップ制度の導入は、本市が選ばれるまち・住み続けるまちを進める上で選択肢の一つになると思うが、この議会の場にいる部長の意識改革とともに、LGBTに対する配慮も意識したまちづくりが必要ではないか。
市長 こういう課題を意識していかなければならないのがまちづくりの在り方であると思う。10月初旬に東海大学の学生とほっとミーツィングを行ったが、行政が性的少数者に配慮し、多様な対応をしていくことが本市のまちづくりにもつながるといふ学生からの提案などもあった。身近な問題として人権対策に取り組んでいくべきであると思っ

議案第102号 平成28年度平塚市一般会計補正予算
問 土木費の道路施設維持管理事業で、委託料を計上しているが、内容を伺う。
答 台風や大雨の影響により堆積が多く見られる側溝のしゅんせつや交通安全上支障となる街路樹の剪定を行う。
問 消防費の消防施設管理事業で、女性用トイレ及びシャワー室の設置工事費を計上しているが、今後の改修計画を伺う。
答 長寿命化ということもあり、消防では各施設おおむね20年をめどに外壁、屋根、設備などの改修計画を立てている。未整備の南原出張所、土沢分遣所は、改修時期を踏まえ増設、増築なども含めて研究し、進めていきたい。